

東京電力 福島第一原発事故から13年

原発ゼロの日本へ

原発ゼロ京都北部府民集会

どなたでも参加できます。 無料

能登半島地震では、志賀原発で外部電源の一部を喪失するほか、放射線量モニタリングポストの故障、主要な道路の寸断など、想定外のことが次々に起こりました。大飯・高浜の原発は、本当に大丈夫なのか。どんな災害・事故が。どんな事態に。避難はできるのか。「想定外」の何が起こる？

京都脱原発訴訟団の先頭に立って、原発の危険性を明らかにしてきた弁護士がお話します。

講演 「地震・津波で原発は本当に大丈夫？避難は？
能登半島地震に学ぶ危険性」

講師：渡辺 輝人 弁護士【オンライン】

（京都脱原発訴訟団事務局長・京都第一法律事務所）

原発の危険性について、
一緒に考えましょう。

とき 3月10日(日) 午後2時～

オープニング企画
北部合唱団のみなさん
午後1時30分から

ところ 舞鶴市西公民館ホール(4階) 舞鶴市南田辺1 ⇒



原発ゼロ京都北部府民集会実行委員会

舞鶴市伊佐津158-1舞鶴地労協内 76-8304

(舞鶴・宮津・福知山・綾部地労協、丹労連、舞鶴原発ゼロの会、宮津原発ゼロネット、原発ゼロネット丹後など府北部の市民団体など)

集会終了後、アピールパレードを行います (参加は自由です) オンライン視聴(ZOOM)ができます。申し込みはこちらへメール→ma-tirokyo@coral.plala.or.jp

ご 案 内

京都府北部に暮らすみなさん

立春を迎えましたがまだまだ寒い日が続いています。

東京電力福島第一原発事故から 13 年を迎えようとしています。いまだ多くの人びとが故郷に戻れず、福島の困難は今も続いています。一刻も早い復興を願います。

さて、京都府北部は、運転開始から49年の高浜原発から 60km 圏内に 24 万 6 千人もの府民が暮らしています。そして、若狭湾沿岸には、高浜、大飯、美浜の発電所(いずれも関西電力)に 7 基の原子炉が集中しています。(この他にも申請中、廃炉が決定など 8 基の原子炉があり、全部で 15 基が集中)

昨年 11 月、関西電力は、稼働から 50 年を迎える高浜 1 号機について、60 年までの運転延長の審査を原子力規制委員会に申請しました。国内で 50 年を超える運転の例はありません。

若狭の原発が永続化されようとしています。

○能登半島地震で原発の危険性が露わに

先の能登半島地震で、志賀原発(石川県・停止中)では、核燃料の冷却に必要な外部電源の一部が受けられなくなりました。また、深刻な原発事故が起きたとき、避難道路の寸断や家屋の倒壊により、計画通りの避難は困難だったことが明らかになりました。柏崎刈羽原発(新潟県・停止中)でも、震度 5 強で国道に多数のひびが入り、避難路が確保できるのか再検討が必要になっています。「想定」を超えた地震・津波が次々に起こり、大きな災害を生んでいます。その中に、原発の大きな事故が含まれる可能性は、否定できません。住民にとって原発は大きなリスクです。一日も早く、運転をやめて、廃炉にすることが大切です。



また、福井県内の原発に保管されている使用済み核燃料を貯蔵冷却プールから出して、陸上で保管する計画が明らかになりました。将来に渡って、原発構内に留め置かれる可能性があります。

○自然エネルギーへの転換を

岸田首相は、再稼働の推進や運転期間の延長、新增設など、原発を推進しています。福島での事故の教訓を忘れ、新たな「安全神話」をつくりだす原発推進の方針は変えなければなりません。省エネルギーと再生可能エネルギーの拡大を政府は真剣に追求しなければなりません。

○原発ゼロで安心・安全な地域を

私たちは、原発の危険性や再生可能エネルギーの拡大を訴え、原発ゼロの世論をひろげる取り組みを続けています。この集会は、原発推進のエネルギー政策の転換を求める声を大きくし、原発ゼロの社会をめざして開催します。多くの皆さまにご参加いただきますよう案内いたします。

2024 年 2 月

原発ゼロ京都北部府民集会実行委員会

